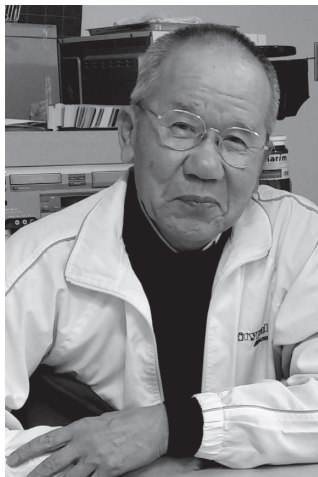


追 悼



望月 積先生を偲んで

望月積先生は、昭和52年に東京藝術大学デザイン科環境造形デザイン専攻の専任講師に就任以来、助教授、教授として25年間、教育、研究にたずさわってこられました。研究テーマは人間生活や社会における環境とデザインについての多くの問題に取り組み、論理的成果や実施にもとづく計画を多数残されています。洗練された感性による質の高い作品は社会的評価も高く、グッドデザイン・公共デザイン部門大賞など多くの賞賛を受賞されました。

私は藝大の環境造形デザイン講座の立ち上げに参加し、専攻の立ち上げと同時に望月先生をお迎えしました。それまでデザイン事務所では様々なデザイン領域での仕事をされておられ、特にパッケージデザインでは秀逸な作品を出し続けておられました。それが毛色の違う環境デザインの分野に入られ、最初は戸惑いもあられ、少し遠慮がちではおられましたが、さすがに持ち合わせておられるデザインの感性が、すぐに素晴らしい展開を始められ、デザイン学会においても、秋季大会での環境デザイン部会主催でのテーマ大会を仕切られました。思い出は枚挙に暇がありませんが、あの優しい笑顔が忘れられません。

ここに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

愛知県立芸術大学名誉教授 長谷高史



日本デザイン学会2022年度第6回理事会議事録

日時■2022年12月10日（土曜日）15：00～17：30

場所■Web・対面会議

出席者■小林、佐藤（弘）、井口、石川、井関、井上、岡本、柿山、加藤（大）、川島、工藤、小泉、佐々木、寺内、永井、永盛、西尾、橋田、福田、松岡、村井、村上、森、山中、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■赤井、大島、黄、佐々、水津、曾我部、細谷、益岡、森田、柳澤、山本

1. 会長挨拶

小林会長より、挨拶がなされた。

2. 2022年度第5回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2022年度第1回運営委員会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2023年度春季研究発表大会について（蘆澤担当理事）

蘆澤理事より、テーマ案やスケジュール等について提案がなされた。テーマ案については提案のものを詳細に検討していくこととなり、スケジュールについては6月23日（金）から25日（日）での開催が承認された。開催形式は、対面を基本とし、オンラインの発表にも対応したセッションを設けることとなった。スケジュールや予算等の詳細は引き続き、検討していくこととなった。

4. 2023年度第70回JSSD春季研究発表大会に関して（柿山研究推進委員長）

柿山研究推進委員長より、春季研究発表大会運営の役割分担について提案がなされた。発表募集、confit契約、投稿管理、タイムテーブル、概要集編集・制作、および大会webサイト等の役割分担について、承認された。なお、グッドプレゼンテーション賞と座長依頼の担当は今後検討することとなった。また、大会参加登録の際には、会員管理サービス「SMOOSY」のアカウントを利用することとなった。さらに、オンライン決済の導入については、見積りを作成して、次回理事会で審議することとなった。

5. 2022年度学会各賞選考について（山中選考委員長）

山中選考委員長より、今年度の審査体制について現選考委員の先生方から年内に了承を得て、審査を進めていくとの報告がなされた。

6. 英文論文誌への投稿数増加に向けて（佐藤（浩）論審委員長）

佐藤論審委員長より、現状の英文論文誌への投稿状況と投稿数増加に向けた対策について提案がなされた。議論の結果、広報の充実など可能な対策を実施するとともに、エディター制度導入などの対策を検討していくこととなった。

7. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員11名（内、外国人会員2名）、
学生会員14名（内、外国人会員7名）

退会：正会員13名

休会：正会員1名

が承認された。

【報告事項】

8. 2022年度秋季企画大会について（加藤実行委員長）

加藤実行委員長より、2022年度秋季企画大会の実施報告と収支について報告がなされた。

9. 芸術関連連合の2023年公開シンポジウムのテーマについて（井口副会長）

井口副会長より、テーマ「芸術と平和／戦争」、オーガナイザー、開催地と日時等について報告がなされた。

10. 2023年度デザイン関連学会シンポジウムとDesign Squareについて（松岡担当理事）

松岡担当理事より、2023年度デザイン関連学会シンポジウムを意匠学会主催により、2023年9月30日（土）にリモートで実施するとの報告がなされた。

また、デザイン関連学会シンポジウムの実行組織として「デザイン関連学会ネットワーク（J-NET DESIGN）」を立ち上げ、年3回程度、「Design Square」（レポートディスカッション）を実施していくとの説明がなされた。次回のDesign Squareは、リモートで「日本国民の『デザイン民度』を活かしたデザイン」を話題とするとの報告がなされた。

11. デザイン学会会員からの図書寄贈（小林会長）

小林会長より、会員から寄贈される図書の活用方法について、JSSD仲介による図書館への寄贈など、今後議論を進めていくこととなった。

12. IASDR2023について（山中担当理事）

山中担当理事より、ミラノ工科大にて9月9日から13日の日程で開催されるとの報告がなされた。また、開催形式はハイフレックスで、近日中にwebサイトが公開されるとの説明がなされた。

13. 第13回 日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方、接し方。」の結果報告（福田第1支部長）

福田第1支部長より、第13回日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方、接し方。」の開催報告がなされた（参考URL <http://jssd.jp/8314>）。

14. デザイン学研究の進捗状況について（佐藤論審委員長）

佐藤論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況について報告がなされた。

15. 英文ジャーナルの進捗状況について（柳澤担当理事（代）佐藤論審委員長）

佐藤論審委員長より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。また、6巻2号について、近日中に公開されるとの説明がなされた。

16. 特集号の進捗状況について（蘆澤学会誌編集・出版委員長）

蘆澤学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について説明がなされた。2021年度分の号については、年度内に発行する予定で進めているとの報告がなされた。今年度分については発行に向け進めているが、次年度分については内容が未定のため、検討していくとの説明がなされた。

17. 作品集の進捗状況について（細谷作品審査委員長（代）小林会長）

小林会長より、2023年3月発行に向けて審査を進めているとの説明がなされた。なお、審査スケジュールに変更が生じた場合には、投稿者へその旨を連絡することとなった。

18. ホームページ更新状況について（西尾広報委員長）

大島理事より、ホームページのアクセス状況について説明がなされた。また、会員の著書についても1件の紹介がなされた。

19. 杉山先生の追悼文記事執筆のお願い（小林会長）

小林会長より、杉山先生の追悼文記事執筆についてお願いがなされた。執筆者も含めて小野理事が取りまとめることとなった。

20. 会報の発行間隔について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、会報の発行間隔について確認がなされた。今後の発行時期について会長と会報担当理事が検討することとなった。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2022年度第2回運営委員会議事録

日時■2023年2月4日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、石川、井関、井上、岡本、柿山、加藤（大）、川島、工藤、小泉、黄、佐々木、寺内、永井、永盛、西尾、福田、細谷、益岡、松岡、村井、森、柳澤、小野、蘆澤、佐藤（浩）
欠席者■赤井、井口、大島、佐々、水津、曾我部、橋田、村上、森田、山中、山本、加藤（健）

1. 会長挨拶

小林会長より、挨拶がなされた。

2. 2022年度第6回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2022年度第6回理事会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2023年度春季研究発表大会について（蘆澤担当理事・永盛概要編集委員長）

蘆澤理事より、準備状況の報告と予算関連の提案がなされた。具体的には、オンライン決済と現地受付用QR発行機能の導入について提案がなされ、承認された。また、懇親会は事前参加人数を確認し、現地集金にて開催することとなった。さらに、参加費（会員：7,000円、非会員：8,000円、学生会員：4,000円、学生非会員：4,500円）（事前申し込みは1,000円引き）、発表費（6,000円）、大会テーマ、プログラム、原稿締切日についても承認がなされた。

なお、会場教室の特性から、Zoomを用いて視聴できる環境を整備するとの説明もなされた。昨年度まで実施していた新型

コロナウイルス陽性者への救済処置は、2023年度大会では行わないこととなった。

4. 2023年度春季大会オーガナイズドセッションについて（工藤総合企画委員長）

工藤総合企画委員長より、開催校企画1件、理事会企画1件、一般会員企画4件の応募があったとの報告がなされた。審議の結果、一般会員企画1件分を除き、すべて採択となった。一般会員企画1件分については、企画意図を申請者に確認し、再度審議することとなった。

5. 2023年度春季大会テーマセッションについて（柿山研究推進委員長）

柿山研究推進委員長より、7件のテーマセッションの応募があったとの報告がなされた。審議の結果、すべて採択となった。

6. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員6名（内、外国人会員2名）、
学生会員8名（内、外国人会員3名）

退会：正会員8名
が承認された。

7. 杉山先生の追悼企画について（松岡理事）

松岡理事より、杉山先生の追悼企画の検討についてお願いがなされた。議論の結果、小野理事と蘆澤理事で検討を進めることとなった。

【報告事項】

8. デザイン学研究の進捗状況について（佐藤論審委員長）

佐藤論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況について報告がなされた。

9. 英文ジャーナルの進捗状況について（柳澤担当理事）

柳澤担当理事より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。

10. 特集号の進捗状況について（蘆澤学会誌編集・出版委員長）

蘆澤学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について説明がなされた。発行が遅延している2021年度分の号については、1件分の原稿が揃えば入稿可能との報告がなされた。また、次年度分の内容については、公募を検討しているとの説明がなされた。

11. 作品集の進捗状況について（細谷作品審査委員長）

細谷作品審査委員長より、審査について遅延が発生しているとの説明がなされた。2月末を著者の修正期限としていることから、年度内の入稿で刊行は4月以降になるとの報告がなされた。

12. ホームページ更新状況について（西尾広報委員長）

大島理事より、ホームページのアクセス状況について説明がなされた。

13. 2022年度春季研究発表大会会計について（蘆澤実行委員）

蘆澤実行委員より、2022年度秋季企画大会の実施報告と収支について報告がなされた。

14. 各支部・委員会の幹事推薦について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、各支部・委員会幹事の推薦についてお願いがなされた。

15. IASDR2023について（小野担当理事）

小野担当理事より、9月9日から13日の日程で開催されるミラノ工科大について情報共有と投稿のお願いがなされた。

16. 各賞選考について（小林会長）

小林会長より、現在、山中担当理事が審査結果をまとめている段階との報告がなされた。

17. 第3支部研究発表会について（黄第3支部長）

黄第3支部長より、2023年2月18日（土）開催予定の第3支部研究発表会@愛知県立芸術大学について説明がなされた。

18. 第4支部研究発表会について（益岡第4支部長（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2023年3月17日（金）開催予定の第4支部令和4年度（2022年度）研究発表会（シンポジウム）について説明がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2022年度第7回理事会議事録

日時■2023年3月11日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、赤井、井口、石川、井関、井上、大島、柿山、加藤（大）、川島、工藤、小泉、黄、佐々、佐々木、水津、寺内、永井、永盛、橋田、福田、細谷、松岡、村井、森、森田、柳澤、山中、小宮、小野、蘆澤、佐藤（浩）

欠席者■岡本、曾我部、西尾、益岡、村上、山本、加藤（健）

1. 会長挨拶

小林会長より、挨拶がなされた。

2. 2022年度第2回運営委員会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2022年度第2回運営委員会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2023年度春季研究発表大会について（蘆澤担当理事・永盛概要集編集委員長）

蘆澤理事より、confitサイトオープン、オンライン決済準備状況、スケジュール案等について報告がなされた。エクスカーションについては、屋形船によるイベントを検討していくこととなり、初日のOPEN SIG後に実施することとなった。また、杉山先生の追悼企画については展示企画というかたちで進めていくこととなった。

4. 2023年度春季大会オーガナイズドセッションについて（工藤総合企画委員長）

工藤総合企画委員長より、件数の決定について報告がなされた。2023年度においては、開催校企画1件、理事会企画1件、一般会員企画3件となった。また、各オーガナイズドセッションの概要をホームページに掲載することとなった。

5. 2023年度名誉会員の選考について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、名誉会員の推挙について説明がなされた。審議の結果、3名を名誉会員候補として資格を確認することとなった。理事会終了後、担当理事から候補者へ確認の連絡をすることとなった。

6. 会長賞の募集について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、会長賞の募集について例年通り実施するとの説明がなされた。

7. 投稿カテゴリーと掲載料について（佐藤（浩）論審委員、柳澤論審委員）

佐藤（浩）論審委員と柳澤論審委員より、投稿カテゴリーと掲載料について提案がなされた。審議の結果、2024年度からの新カテゴリーへの変更を目指して、秋季企画大会等での議論を進めていくこととなった。

8. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 6 名、

学生会員 10 名（内、外国人会員 5 名）

休会：正会員 1 名、

退会：正会員 10 名（内、外国人会員 1 名）

学生会員 2 名（内、外国人会員 2 名）

年間購読会員 1 件

が承認された。

9. IASDR2023における査読協力について（山中理事）

山中理事より、IASDR2023における査読者の募集について説明がなされ、JSSD 理事への協力依頼があった。

【報告事項】

10. 日本デザイン学会各賞の審査の遅れについて（山中選考委員長）

山中選考委員長より、学会各賞の審査の遅れについて報告がなされた。今後は、選考をお願いした先生方と協力委員も含め、審査委員会を今年度中に開き、審査を進めていくこととなった。

11. デザイン学研究の進捗状況について（佐藤論審委員長）

佐藤論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況について報告がなされた。

12. 英文ジャーナルの進捗状況について（柳澤担当理事）

柳澤担当理事より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。

13. 特集号の進捗状況について（蘆澤学会誌編集・出版委員長）

蘆澤学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について説明がなされた。発行が遅延している2021年度分の号につ

いては、2023年度4月発行見込との報告がなされた。

14. 会報の進捗状況について（森担当理事）

森担当理事より、会報の準備状況について説明がなされ、原稿提出のお願いが再度なされた。

15. 作品集の進捗状況について（細谷作品審査委員長）

細谷作品審査委員長より、審査状況について説明がなされた。現在、2次審査中で3月20日（月）までに著者へ審査結果を通知するとの報告がなされた。

16. 第2支部の教育成果集について（橋田第2支部長）

橋田第2支部長より、教育成果集への申請のお願いがなされた。

17. 春季研究発表大会のwebサイト継続について（福田第1支部長）

福田第1支部長より、confit上で構築された大会webサイトのアーカイブ化に関するお願いがなされ、蘆澤理事の方で検討することとなった。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2023年度第1回運営委員会議事録

日時■2023年4月8日（土曜日）15：00～17：00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、赤井、井口、石川、井関、井上、大島、柿山、加藤（大）、川島、工藤、小泉、黄、佐々、佐々木、寺内、永井、永盛、西尾、橋田、福田、細谷、益岡、松岡、村上、森、柳澤、山中、山本、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■岡本、水津、曾我部、村井、森田

1. 会長挨拶

小林会長より、挨拶がなされた。

2. 2022年度第7回理事会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2022年度第7回理事会議事録案が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2023年度理事会構成員・組織について（小林会長）

小林会長より、昨年度の委員継続による運営について説明がなされた。また、学会各賞選考委員は次年度より新体制でスタートすることを前提に準備を進めていくこととなった。

4. 2023年度春季研究発表大会について（蘆澤担当理事・永盛概要集編集委員長）

蘆澤理事より、全体スケジュール、エクスカッションの準備状況、追悼企画、GP賞の運営、および企業展示について説明がなされた。審議の結果、エクスカッションの金額（非学生会員：6,000円・学生：3,000円）、追悼企画（エピソード募集など）、研究推進委員会取りまとめによるGP賞運営（論審、作品審等も参加）が承認された。また、総会後に学会各賞の授与のための時間を確保することとなった。

5. 2023年度名誉会員の選考について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、名誉会員の推挙について説明がなされた。審議の結果、4名を推薦することとなった。運営委員会終了後、担当理事から候補者へ確認の連絡をすることとなった。

6. 2023年度学会運営スケジュールについて（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、2023年度学会運営スケジュールについて説明がなされ、一部誤記を除いて承認された。

7. 2023年度総会議案書について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2022年度報告と2023年度計画の執筆を各支部、委員会および部会へ依頼するとの報告がなされた。

8. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員23名（内、外国人会員1名）、

学生会員82名（内、外国人会員15名）

休会：正会員1名、

退会：正会員16名、

学生会員12名（内、外国人会員4名）

が承認された。

9. 学会各賞選考結果について（山中理事）

山中担当理事より、2021年度分の選考結果は功労賞2件、奨励賞1件、年間論文賞1件、年間作品賞2件であるとの報告がなされ、承認された。

10. 学会各賞選考委員について（松岡担当理事）

松岡担当理事より、2022年度学会各賞選考委員について提案がなされた。審議の結果、「各賞受賞に関する規定」第4条の選考委員会の人数を10名から10名程度へ変更する方向で調整していくことが承認された。この変更を前提として、2021年度選考委員会のメンバーに加え、2022年度論審委員長（佐藤（浩）理事、柳澤理事）と作品審査委員長（細谷理事）を追加することとなった。

11. 新規の賞設置について（松岡担当理事）

松岡担当理事より、現行の研究奨励賞と学会賞の間を補完する賞や新しい研究領域を奨励する賞の設置について提案がなされた。引き続き、検討していくこととなった。

【報告事項】

12. 芸術学関連学会連合第17回公開シンポジウムについて（井口担当理事）

井口担当理事より、同シンポジウムのプログラムについて説明がなされた。また、JSSD会員へwebサイトとメールにて告知することとなった。

13. デザイン学研究の進捗状況について（佐藤論審委員）

佐藤論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況について報告がなされた。また、2022年度分の論文集は予定通り発行されたとの説明がなされた。

14. 英文ジャーナルの進捗状況について（柳澤論審委員）

柳澤担当理事より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。

15. 特集号の進捗状況について（蘆澤学会誌編集・出版委員長）

蘆澤学会誌編集・出版委員長より、特集号の進捗状況について説明がなされた。

16. 作品集の進捗状況について（細谷作品審査委員長）

細谷作品審査委員長より、発行準備状況について説明がなされた。

17. ホームページの更新状況について（西尾広報委員長）

西尾広報委員長より、各委員会、部会のホームページ更新状況について報告がなされた。

18. デザイン関連学会シンポジウムについて（松岡担当理事）
松岡担当理事より、3月31日にDesign Square #02が開催され、工藤理事が登壇されたとの報告がなされた。

19. IASDR2023の査読について（山中担当理事）
山中担当理事より、IASDR2023の査読について、再度、お願いがなされた。また、IASDR2025の日本開催の可能性について説明がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2023年度第1回理事会議事録

日時■2023年6月3日（土曜日）15:00～17:00

場所■Web会議

出席者■小林、佐藤（弘）、井口、石川、井関、井上、大島、岡本、柿山、加藤（大）、川島、工藤、小泉、黄、佐々、佐々木、水津、永井、永盛、西尾、橋田、福田、細谷、益岡、松岡、村井、村上、森、柳澤、山中、山本、小野、蘆澤、加藤（健）、佐藤（浩）

欠席者■赤井、曾我部、寺内、森田、

1. 会長挨拶

小林会長より、挨拶がなされた。

2. 2023年度第1回運営委員会議事録の承認（佐藤本部副事務局長）

2023年度第1回運営委員会議事録案が示され、軽微な修正を除き、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2023年度春季研究発表大会について（蘆澤担当理事・永盛概要集編集委員長）

蘆澤理事より、発表数、講演プログラム、運営準備状況、および収支見込について説明がなされた。今後は、会場設営の準備を進めていくとともに、座長・GP賞審査委員の選定について概要集編集委員会、研究推進委員会、論文審査委員会、および作品審査委員会で決めていくこととなった。

4. 2023年度会長賞について（小林会長）

小林会長より、第3支部より1件の推薦があったとの報告がなされ、審議の結果、承認された。

5. 総会の進行について（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、総会の進行について説明がなされた。審議の結果、式次第構成については承認され、その時間配分についての詳細は事務局で検討することとなった。

6. 2022年度決算・2023年度予算について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、2022年度決算・2023年度予算について説明がなされ、承認された。また、山中監事から各委員会における業務について年度内遂行厳守のお願いがなされた。

7. 2023年度総会議案書について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、議案書の準備状況について説明がなされた。引き続き、総会に向けて準備を進めていくこととなった。

8. 2023年度各賞授賞選考委員会の構成員と名誉顧問の制定について（小林会長）

小林会長より、2023年度各賞授賞選考委員会の構成員と名誉顧問の制定について説明がなされ、承認された。なお、定款は変更しない方針で事務局にて検討することとなった。また、名誉顧問の選定についてはメール審議することとなった。

9. 新授賞制度について（松岡各賞授賞選考委員長）

松岡各賞授賞選考委員長より、新授賞制度について説明がなされ、優秀研究賞とフロンティア論文賞の新設が承認された。

10. 2023年度秋季企画大会について（小林会長）

小林会長より、2023年度秋季企画大会について説明がなされ、内容について承認された。なお、WDOとの関わりは本学会と組織的な契約はないので、説明文について検討していくこととなった。

11. 会員の移動について（佐藤本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員22名（内、外国人会員2名）、
学生会員32名（内、外国人会員7名）

退会：正会員6名、
学生会員12名（内、外国人会員2名）
賛助会員1件
年間購読会員1件

が承認された。

12. オーガナイズドセッションにおける聴講学生について（工藤企画委員長）

工藤企画委員長より、オーガナイズドセッションの登壇者より、10名の学生を無料で参加させたいという要望があったとの説明がなされた。審議の結果、当該オーガナイズドセッションのみの参加を条件として、聴講が承認された。

【報告事項】

13. デザイン学研究の進捗状況について（佐藤論審委員）

佐藤論審委員長より、『デザイン学研究』における審査状況について報告がなされた。

14. 英文ジャーナルの進捗状況について（柳澤論審委員）

柳澤担当理事より、『Journal of the Science of Design』における審査状況について報告がなされた。また、7巻1号が近日中に発行されるとの説明がなされた。

15. 特集号の進捗状況について（蘆澤学会誌編集・出版委員長）

蘆澤学会誌編集・出版委員長より、研究部会特集が近日中に発行されるとの説明がなされた。

16. 作品集の進捗状況について（細谷作品審査委員長）

細谷作品審査委員長より、現在、編集作業中であり、近日中に発行予定であるとの説明がなされた。

17. ホームページの更新状況について（西尾広報委員長）

西尾広報委員長より、ホームページについては6件の更新、会員の著者については1件の申請について報告がなされた。

18. 教育成果集と第2支部見学会について（橋田第2支部長）

橋田第2支部長より、教育成果集の進捗状況について報告がなされた。また、7月14日開催予定の第2支部の見学会について説明がなされた。

記録：佐藤（浩）

第70回春季研究発表大会報告

実行委員長 蘆澤雄亮

第70回となった本年度の春季研究大会は、2023年6月23日（金）から25日（日）にかけて芝浦工業大学豊洲キャンパスを会場に開催いたしました。コロナ禍を契機に日常的な行動の中にオンラインが浸透するなど、大きな行動変容が起こった昨今において「これからの学びはどうデザインすべきか？」という

問題に対して議論すべく「学びのデザイン」をテーマとした今大会では、基調講演をはじめオーガナイズドセッションなどの様々な企画において「学び」が取り上げられる一方、会期中の積極的なOPEN SIG開催やエクスカッションとオーガナイズドセッションの連動など、新たな学びのデザインに向けたチャレンジも行われました。

本大会では初日の開会式後、基調講演として芝浦工業大学の山田純学長にご登壇いただき、「新たな学びに向けた大学の改革（と悩み）」というテーマで講演いただきました。この中で、山田学長からは工学教育を中心とした大学教育全体の課題点について説明いただいた後に、芝浦工業大学特有の課題、デザイン工学部の課題等について説明いただき、それらに対する取り組みとして2024年より開始する工学部課程制のポイントや2025年に予定しているデザイン工学部の改組等についてお話いただきました。質疑応答では芝浦工業大学の教職協働体制のポイントなどについて質疑がなされるなど、活発な質疑応答が行われました。

基調講演の後にはOPEN SIG（公開型研究部会）が行われ、「環境デザイン部会」「デザイン科学研究部会&タイムアクシスデザイン研究部会」「情報デザイン研究部会」の計4部会がOPEN SIGを実施しました。

その後、エクスカッションでは屋形船による東京湾⇄葛西海浜公園のクルーズツアーが行われ、50余名がこのツアーに参加しました。このエクスカッションでは葛西海浜公園パートナーズを共催にパークレンジャーである木村成美さんを講師にお迎えし、葛西沖の保全計画や東京湾の自然環境に関するレクチャーが行われました。これら一連のエクスカッションは25日に開催されたオーガナイズドセッションの予習という位置づけで開催されており、新たな学びのデザインとして、カリキュラムツリーのような「学びの連携」を意識した挑戦的な取り組みとなりました。

2日目となる24日からは口頭発表およびポスターセッションが開催され、24～25日の2日間で口頭発表199件、ポスターセッション71件の合計270件にわたる発表が行われました。口頭発表では一部セッションにてキーノート講演や研究部会ミーティング、ディスカッションがプログラムとして行われるなど、新たな学びのあり方のヒントとなるような先進的な取り組みが行われました。また、ポスターセッションにおいても情報デザイン研究部会のOPEN SIG展示が行われるなど、新たな試みが実施されました。

口頭発表における一般セッションで発表されたテーマは「情報デザイン」「建築」「インテリア」「景観デザイン」「地域振興」「地域研究」「デザインシステム」「デザイン教育」「グラフィック」「家具」「木工」「デザインマネージメント」「環境デ

ザイン」「タイポグラフィー」「ユニバーサルデザイン」「形態」「構成」「デザイン方法論」「デザイン計画」「感性工学」「デザイン史」「ファッション」「デザイン評価」「色彩計画」「人間工学」「デザイン論」「インターフェース」「その他」の28テーマであり、テーマセッションでは創造性研究部会による「日本の創造性とデザイン」、プロダクトデザイン研究部会による「ビジョンと体験デザイン」、デザイン科学研究部会による「他空間デザインモデル、デザイン理論・方法論」、タイムアクシスデザイン研究部会による「タイムアクシスデザイン」、情報デザイン研究部会による「足元のWHYを問い直すデザイン」および「デザイン実践者が見ている環世界」、子どものためのデザイン研究部会「子どものためのデザイン」の6研究部会7テーマによるテーマセッションが行われた。

企業展示には「株式会社ショウワ」「株式会社Too」「クムルス」「公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会」「公益財団法人日本デザイン振興会」「世界デザイン会議2023東京」「ダイナコムウェア株式会社」「日本3Dプリンター株式会社」の8団体に出展いただきました。

また、開催校の特別企画展として、かつて芝浦工業大学にて教授としてご活躍され2022年10月にご逝去された杉山和雄先生を偲ぶ「杉山先生を偲ぶ」展が行われました。

オーガナイズドセッションは、24日に千葉大学教授の渡邊慎二先生オーガナイズによるセッション「サービスデザインの未来と人材像」、開催校オーガナイズによるセッション「学びのデザイン」の2件が行われ、翌25日には環境デザイン部会主査の佐々木美貴先生オーガナイズによるセッション「みんなで東京湾葛西沖を学び・考える」、ホロンクリエイトの高橋克実氏オーガナイズによるセッション「ビジョンと体験設計」、中国美術学院客員教授の青木史郎先生および静岡文化芸術大学名誉教授の黒田宏治先生オーガナイズによるセッション「企業内デザインが築き上げた資産」の3件が行われ、2日間で5件のオーガナイズドセッションが実施されました。

また、24日の夜には同キャンパス内にて懇親会を開催し、約120名がこれに参加しました。さらには大会運営にあたり、「学びのデザイン」というテーマを体現するべく、約30名の学生による「学生主体の運営」が行われ、大きなトラブルもなく無事に運営がなされました。

以上、計3日間にわたり実施された春季大会では600名を超す参加者（登録者数599名、名誉会員等の招待者数10余名）にご参加いただき、活況のうちに終了しました。

さて、「学びのデザイン」をテーマに開催された今大会ですが、その中で様々な試みが行われました。学びのデザインは時宜に応じてその様態を変えていくべきものであり、何か「これだ」という正解のあるものではありません。その一方、適時な

んらかの形でテーマとして採り上げ、議論を重ねていくことも重要となるテーマではないかと考えています。そのような点で、今回こうして闊達な議論が行われ、新たな取り組みがなされたことは、今後の「学びのデザイン」において何らかのよい影響が出るものと信じており、一方でそうなることを期待する次第でもあります。

最後に、今大会の開催にあたりご尽力いただいた芝浦工業大学の先生方、学生のみなさん、デザイン学会会員の皆様には心より篤く御礼申し上げます。



会場受付の様子



開会式の様子



基調講演の様子



OPEN SIGの様子（情報デザイン研究部会）



ポスターセッションの様子



エクスカーション内でのレクチャー



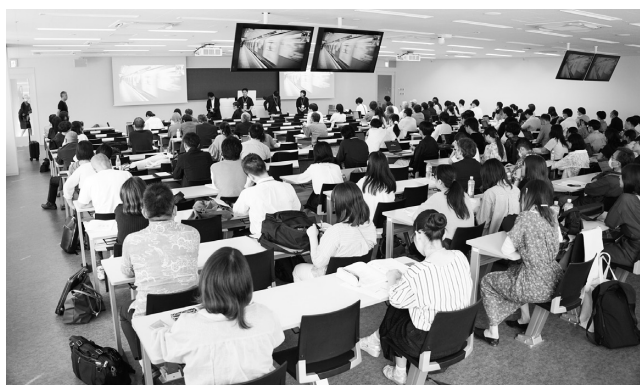
懇親会の様子



企業展示の様子



開催校特別展「杉山先生を偲ぶ」



オーガナイズドセッションの様子（サービスデザインの未来と人材像）



口頭発表の様子（発表会場 9）



閉会式の様子

2023年度第2支部活動報告

支部長 橋田規子

第2支部の本年度活動の報告です。

見学会を開催しました。

TOTOギャラリー・間「ドットアーキテクト展POLITICS OF LIVING 生きるための力学」展

2023年7月14日金曜日17時～18時

【参加方法】対面（館長による説明ツアー方式）

見学場所 六本木TOTOギャラリー・間

合計で22人が参加しました。

2023年度企画委員会支部企画報告

委員長 橋田規子

「教育成果集2022」を第70回デザイン学会春季研究発表大会にて配布しました。

2023年度第3支部活動報告

支部長 黄ロビン

・「日本デザイン学会第3支部報告集」論文募集を開始。

会員の研究活動やデザイン活動の発表の場として、「日本デザイン学会第3支部報告集」を刊行しつつあります。今年度も募集しますので、会員の皆様ならびに一般の方からも多数のご投稿をお待ちしております。

・「日本デザイン学会第3支部研究発表会」開催予定。

会員や学生のデザイン活動・研究の成果を、研究発表会を通じて相互に理解し合い、親睦を深めていただくことを目的として開催しております。詳しい情報は支部HPでご確認ください。

日本デザイン学会第3支部HP：<https://jssd3b.jp/>

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が

増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、

事務局までご連絡ください。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdf にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

2023年度活動報告家具・木工部会

主査 石川義宗

1. 第70回春季大会にて3件の口頭発表と総会を行った。

「公設試によるデザイン支援の取り組み(1)」(富永由佳、隈本あゆみ、堤靖光、羽野泰史、岡村博幸)

「公設試によるデザイン支援の取り組み(2)」(隈本あゆみ、富永由佳、堤靖光、羽野泰史、岡村博幸)

「家庭内における収納家具の所有および固定状況に対する調査」(中嶋観司、阿部真理、白石照美)

2. 第70回春季大会にて総会を開催し、下記について話合った。

2.1 報告事項

新しい主査と幹事の紹介と挨拶

特集号『研究部会のいま』の進捗

部会の預金の状況

2.2 協議事項

家具木工部会の特集号の作成

家具メーカーへの現地調査

その他

2023年度活動報告環境デザイン部会

主査 佐々木美貴

環境デザイン部会では、春季大会のOSで「みんなで東京湾葛西沖を学び考える」を実施いたしました。その関連で10月には葛西浜公園のサンクチュアリの無人島「東なぎさ」に部会員2名が観察会と清掃活動に参加することとなりました。今後、ED place誌上に、OSの内容に加え、当日のアンケート結果、質疑応答時間内でお答えできなかった回答をパネラーに執筆いただいたものと合わせて、東なぎさ報告を掲載いたします。乞うご期待ください。

部会活動では、ED place100号を1年半後に発行予定として、100号企画を有志メンバーで進めています。今までの環境デザイン部会を振り返り、新たな環境デザイン部会を模索中です。

また、第2支部との共同開催をしていただき、ギャラリー・間「ドットアーキテツ展POLITICS OF LIVING生きるための力学」の見学会を行いました。(第2支部のご報告をご覧ください。)



ドットアーキテツ展 館長による説明

2023度活動中間報告タイポグラフィ部会

主査 伊原久裕

本年度の活動として、まず4月20日に東京工芸大学において、グラフィックデザインの第一線で活躍されている小林一毅氏、林規章氏の2名をお招きし、「作字とデザイン:グラフィックの立場からのタイポグラフィ」と題する講演会を開催した。

多数の聴講者の参加を得て盛況であった。次に、デザイン学研究特集号「タイポグラフィにおける書体—歴史・デザイン・使用の視点から」については、13名の執筆者からの寄稿を得て、編集 중이다。また、学会の大会に合わせて6月25日に部会を開催し、今年度の活動案として、タイポグラフィの教育についての研究会の企画を進めることとなった。



講演会「作字とデザイン」
フライヤーデザイン: 高城光



講演会 パネルディスカッション

献本御礼

◆献本

「増補 彫刻と工芸の七十年 畑 正吉」畑 正夫企画、畑 文雄
編集・発行

「KAZUMASA NAGAI POSTER LIFE」多摩美術大学刊行

「TANAKA IKKO The POSTER」多摩美術大学刊行

「デザイン㊟ 木下勝弘」木下勝弘著、2023年3月

「公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会 創立70周年記念誌」発行：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、2023年3月

◆機関紙ほか

「デザイン理論 意匠学会編 82号」発行：意匠学会、2023年8月

「多摩美術研究 第12号」発行：多摩美術大学、2023年7月

「JIDA デザインミュージアムセレクションVOL.24」発行：公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、2023年

「日本オフィス学会誌 Vol.15 No.1」発行：日本オフィス学会、2023年4月

「GK Report No.43」発行：GKデザイングループ、2023年6月

「TAMABI NEWS Vol.94」発行：多摩美術大学、2023年

◆催事情報

「without records 大友良英＋青山泰知＋伊藤隆之」2023/7/23～11/5 山口情報芸術センター [YCAM] サテライトA

「日本の近現代建築家たち」第1部 覚醒と出発 2023/7/25～10/15 第2部 飛躍と挑戦 2023/11/1～2024/2/4 国立近現代建築資料館

「Forest Symphony 坂本龍一＋YCAM interLab」2023/8/11～11/5 常栄寺雪舟庭

「日本のグラフィックデザイン2023」2023/9/1～10/19 東京ミッドタウン・デザインハブ

「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」2023/10/6～12/3

「金曜ロードショーとジブリ展」2023/10/7～2024/1/28 富山県美術館

「影の獲物になる狩人（演劇）」2023/10/14～10/15 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

「世界デザイン会議 東京2023 DESIGN BEYOND」2023/10/27～10/29 六本木アカデミーヒルズ他

◆募集

・第45回沖縄研究奨励賞推薦の募集／応募期間：2023/7/15～9/30／主催：公益財団法人沖縄協会

・2024年度笹川科学研究助成の募集／申請期間：2023/9/15～10/16／主催：公益社団法人日本科学協会

・アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本原作募集／応募締切：2023/10/20／主催：公益財団法人アイヌ民族文化財団

・六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト2024／テーマ「多様性」／応募締切：2023/10/31／主催：六本木商店街振興組合／後援：港区

・第23回グリーン・サステナブル ケミストリー賞候補業績募集／応募締切：2023/11/17／主催：公益社団法人新化学技術推進協会

2023年度名誉会員の選考について

本部事務局

2023年6月23日に開催された第70回総会において、新たな名誉会員として以下の方々に名誉会員証が贈呈されました。

2023年度新規名誉会員

森田昌嗣会員（121号） 岡本 誠会員（122号）

杉下 哲会員（123号）

会員の移動

◆第1回運営委員会 2023.04.08

新入会

正会員23名（内、海外会員1名）

跡見 順子	阿部 拓也	井上 英昭	大久保達真
折笠 利紗	神沼 英里	杉本 洋介	金沢 将
神林 優	佐々木浩也	高橋 基就	田崎 咲絵
徳永 弘子	富永 由佳	鳥居 寛	中川 采香
福本 直之	松浦 李恵	宮崎しづか	森田 拓弥
山崎 憲一	吉岡 史樹	張 銑峰	

学生会員82名（内、海外会員15名）

麻野 琴巳	芦沢 健	新井 恒陽	新井 律
石井 萌	伊勢 壮太	伊藤 拓巳	伊藤 尚子
伊藤 悠貴	岩崎 理樹	岩崎 百音	碓井 厚希
内田 隼人	上嶋 優輝	大橋優一郎	長内 望理
貝瀬 優季	岡田 満帆	岡本 萌花	奥野 留惟
奥山 尚史	桂田 千穂	加藤 由宇	金城 秀都

小林 綾香	酒井 晟義	佐藤 伶	下山唯理音
鈴木 克磨	高野 友夏	高橋 郁成	高橋 晴飛
高玉 実来	竹中 由起	多田 亮平	田中美昴子
堤 晴季	富田 萌子	中川 景太	中川 脩平
長野 翼	成田 瑠七	西海 大愛	野本 七海
林 淳平	原田 旺輔	藤方 溪心	古橋 優吾
古町 昂大	堀田ゆりあ	牧野 純也	又吉 隆斗
松田 賢	松永 秀文	松本 幹大	松本 俊亮
丸山 新世	箕輪 侑	三輪 智優	山下 諸人
山本 彩智	山本 尚毅	山本 怜奈	横内 丞以
吉川 綾華	吉田 慧仁	鷲谷 佳宣	王 中曄
李 敏	李 淵宰	楊 心苒	張 付新
張 紫薇	陳 建盛	王 悠然	隋 適存
黃 輔立	蘇 文字	李 衡	
プラムーン	パニタン	牛 靦靦	王 立鳳

退会

正会員16名

石井香久子	石井 晴雄	内田 夢乃	大室 誠
小川 篤志	影山 和則	金子 武志	東南 裕美
沼田浩一郎	伴 秀之	堀越 哲美	村田 良子
森 眸美	山浦 和彦	横田 英夫	渡邊 聡美

学生会員12名（内、海外会員4名）

小野村頼子	齊藤 真生	篠崎 宏樹	杉山 弥優
竹内 花	竹丸 草子	三宅 駿平	山口 玲
呉 敏	沈 清揚	陳 傑	楊 柳

休会1名

宮川 成門

訃報

三木 清史会員（第2支部）

ご冥福をお祈り申し上げます。

◆第1回理事会 2023.06.03

新入会

正会員22名（内、海外会員2名）

相野谷威雄	阿部花奈子	伊賀聡一郎	五十嵐 悠
上野 直哉	江良 智美	遠藤 直久	大西 望生
岡田瑠美子	小川 貴史	川口 景示	小池 秀樹
小島 仁志	辻野 孝	長尾 訓寿	中村 徳男
西部愛裕美	博多 歩	深見 嘉明	山田 協太
趙 飛帆	趙 領逸		

学生会員32名（内、海外会員7名）

井倉 芳弥	石崎 淑乃	上村 春香	熊木七菜子
小林 陽昭	才川 拓馬	阪下 闔	佐々木志門
佐々木茉歩	澤口 絢音	佐山 海音	志村 駿太
武井まどか	武谷 龍	田中 頌子	田中 慎人
田中雄一朗	関口 洋介	仲沢 実桜	中村 晴菜
林 真斗	松菌 美帆	百瀬 萌	森 香南子
雪本 愛佳	龐 昊宇	黃 筱茜	陳 茜
呉 雲輝	林 宗憲	辛 梅青	趙 文婧

退会

正会員6名

石塚 明夫	伊藤 文彦	岩谷 昌樹	大野 一生
川原 啓嗣	坂野美恵子		

学生会員12名（内、海外会員2名）

稲垣俊太郎	内田 亜樹	江口 怜南	大竹英理耶
鏡味 沙里	加藤菜々子	木村はるな	真鍋 誠也
村上 恭理	吉田 亮太	邵 博超	俞 建琳

賛助会員1件

アドビ（株）

年間購読会員1件

東京家政学院大学附属図書館

◆第2回理事会 2023.06.23

新入会

正会員11名（内、海外会員1名）

青木 友希	石沢 舞	大村 瑛太	小田 敬子
川島 里沙	桐原 綾香	櫻井 弘道	清水 稔
宮澤 大	和田由里子	オウ キョクカ	

学生会員8名（内、海外会員1名）

石塚 啓介	米 優華	島内 涼雅	土岐惣一郎
中本 葉奈	濱田 紗希	丸一耀太郎	田 東沢

退会届

正会員2名

内山 博子	鈴木 直人
-------	-------

学生会員3名

大谷 真菜	亀薦 邦彦	須藤 翼
-------	-------	------

年間購読会員 1 件

新潟県立図書館

◆第 2 回運営委員会 2023.09.02

新入会

正会員14名（内、海外会員 1 名）

赤司 尚行	安積 伸	石垣 貴子	井上奈那美
大谷 義智	佐藤 宏樹	伊達 亘	永井 賢
根岸 尚代	八幡 清信	三宅 由莉	村岡 詩織
森 理恵	陳 侑芬		

学生会員14名（内、海外会員 4 名）

荒俣 蓮	鵜野 葉月	小川 桜子	奥山 裕也
風神 優子	琴川さくら	小林 千夏	沢田 倫子
下邨 尚也	西沢 仁美	Rusk Gabriel	紀 筑雅
楊 屹洲	Taepoer Raditya Ardianto		

退会

正会員 7 名

池上 夏未	海老澤伸樹	小河 清	金井 宏水
佐藤 亮介	水出 悠斗	山本 正美	

学生会員 6 名

葛西 朱里	木谷 衣利	久米 聖伍	樋口涼佳子
松崎 佑亮	山城 清香		

訃報

山本 正美会員（第 2 支部）

ご冥福をお祈り申し上げます。